

太陽と微生物の力で土づくり 高知ナス栽培でコフナ・ソーラー法

地力を高めるために高知県のさまざまな作物で微生物資材コフナが使用されております。一例としてナス栽培で青枯病が発生した圃場（ほじょう）にて、土壌微生物相の多様化と土づくりを目的としたコフナ・ソーラー法を18年夏に初めて取り組んだ事例をご紹介します。

栽培終了後、残渣（ざんさ）とともにコフナ+低濃度エタノールを投入し、約一ヶ月間、土壌還元消毒型コフナ・ソーラー法を実施しました。実施前の青枯病菌密度は発病ポテンシャル3（高いレベル）でしたが、実施後の青枯病菌密度は検出限界を下回りました。18年10月より収穫しておりますが、19年5月現在も青枯病のような症状は見受けられず、前年以上に安定して収穫を続けています。

土壌微生物を多様化させ、
地力を上げる
好嫌気性複合微生物資材

コフナ®



コフナ・ソーラー法の様子

高知ナス
順調に出荷中!!

■コフナ・ソーラー法（高知県ナス栽培）

7月下旬～8月下旬

コフナ+低濃度エタノールにて土壌還元消毒型コフナ・ソーラー法実施

■アグロカネショウ株土壌分析室 / 土壌分析結果（生物性）報告書抜粋

	病害虫名	分析方法	分析値	単位	発病ポテンシャル
実施前	青枯病菌	希釈平板法	1.7×10^5	cfu/g (乾土)	3 (高い)
実施後	青枯病菌	希釈平板法	$< 10^2$	cfu/g (乾土)	1 (低い)

※発病ポテンシャルについて 3…発病リスクが高い菌密度 1…発病リスクが低い菌密度

コフナ農法普及協議会 事務局 / ニチモウ株式会社内
〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-20-2
TEL.03-3458-4369 FAX.03-3458-4329
E-mail : info@cofuna.jp WEB : http://www.cofuna.jp

